

気胸手術は清潔手術か?(肺のう胞疾患, 第22回日本呼吸器外科学会総会)

著者	大谷 真一, 佐藤 幸夫, 遠藤 俊輔, 長谷川 剛, 手塚 憲志, 蘇原 泰則
雑誌名	日本呼吸器外科学会雑誌
巻	19
号	3
ページ	365
発行年	2005-05-20
権利	日本呼吸器外科学会
URL	http://hdl.handle.net/2241/00134225

O-122 気胸手術は清潔手術か？

¹宇都宮社会保険病院 胸部外科, ²自治医科大学 呼吸器外科

大谷 真一^{1,2}, 佐藤 幸夫², 遠藤 俊輔², 長谷川 剛²,
手塚 憲志^{1,2}, 蘇原 泰則²

【背景】気道などの管腔臓器が術野に露出する単清潔手術は、CDCの手術部位感染防止ガイドラインによると予防的抗菌薬投与の適応であり、一般的に気胸手術の際にも予防的抗菌薬が投与されている。しかし、健常な末梢気道内は無菌状態と言われており、単にブラを楔状切除するだけの気胸手術は清潔手術に相当すると予想される。【目的】気胸手術における抗菌薬投与の必要性を検討する前提として、肺を楔状切除した断端の汚染状態を検討した。【対象】感染症を伴わない自然気胸に対して、当院で肺楔状切除術を施行した連続14症例を対象にした。対象に3例の肺気腫合併症例が含まれていた。【方法】ブラを含む末梢肺を自動縫合器で楔状切除した。体外に取り出した切除肺断端を擦過した綿棒の細菌培養検査を行った。【結果】切除肺断端の細菌培養検査は全例陰性であった。【結論】楔状切除された末梢肺の断端は無菌状態であり、気胸手術は清潔手術であると考えられる。